



ブラジルろうあスポーツ連盟による浜松市内視察について

ブラジルろうあスポーツ連盟（以下「CBDS」）のダイアナ・サザノ・デ・ソウザ・キョセン会長が、2025年11月に開催する「東京2025デフリンピック」の参加に合わせ事前合宿を浜松市内で行うため、以下のとおり合宿候補先となる市内スポーツ施設の視察や市長表敬訪問が行われます。

1 CBDS 浜松市内視察について

日 程：2023年11月1日（水）～2日（木）

視 察 者：CBDS 会長 DIANA SAZANO DE SOUZA KYOSEN

（ダイアナ・サザノ・デ・ソウザ・キョセン）

CBDS 国際イベント幹事 Ana Lucia Cláudio Dias Lázaro

（アナ・ルシア・クラウヂオ・ディアス・ラザロ）

CBDS 手話通訳者 LARISSA MATOS SILVA（ラリッサ・マトス・シルバ）

2 市長表敬訪問

日 時：2023年11月1日（水）11:30～11:45

場 所：浜松市役所 本館5階 秘書課応接室

訪 問 者：CBDS 視察者3名、石川エツオ

<参考> 浜松市内における事前合宿（予定）について

合宿競技：サッカー、バレーボール、ハンドボール、陸上競技、バトミントン、テニス、卓球、ビーチバレー、柔道、空手、テコンドーの11競技

会場候補：江之島ビーチコート、遠州灘海浜公園球技場、浜松アリーナ、浜北体育館、浜松新電力テニスコート、引佐総合体育館、舞阪総合体育館、雄踏総合体育館、四ツ池陸上競技場

合宿日程：2025年11月上旬

参加人数：選手167名、スタッフ38名 合計205名

<参考> 東京2025デフリンピックについて

きこえない選手のオリンピックと言われるデフリンピックは、国際ろう者スポーツ委員会が主催し、4年毎に夏季と冬季の大会が開催され、第25回の東京大会は日本初開催となる。

2025東京大会は、2025年11月15日～26日（12日間）で東京都内の会場を中心に21競技、3,000人の選手が参加する予定。

競技は一般の競技ルールに準拠するが、スタートランプや旗などを利用した視覚による情報保証が特徴。前回24回の夏季大会は、2022年5月にブラジルで開催され、73か国から21競技、2,412名の選手が参加した。